

研修企画書

No.19-403

テーマ (サブテーマ)	IT活用による伴走型支援の進め方 ～人手不足や生産性向上を解決するIT支援スキルを学ぶ～				
研修のねらい	日本全国で人手不足が慢性化していく中、その影響を最も大きく受ける中小零細企業の多くは「生産性向上」という課題に直面したままです。一方で、この生産性を向上させるために最も有用なツールとして注目されているITについても、その普及率が伸びない現状となっています。 本研修では、中小企業が抱える課題である「IT活用」とそれによってもたらされる「生産性の向上」をどのように支援し、これからの時代の伴走型支援の実践ノウハウとして確立していくのかについて、事例紹介を交えながら学んでいただきます。				
受講対象者	中小企業支援担当者並びに中小企業支援協力機関の役員及び職員であって中堅担当者または職務経験5年程度以上の方等			募集人員：30名	
研修期間	2019年8月28日(水)～8月30日(金)〔計3日間〕			研修時間：21時間	
会場	中小企業大学校直方校			受講料：23,000円	
月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)	
8月28日 (水曜)	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション			株式会社カレッジフェイス 代表取締役 岩岡 博徳
	9:30～12:20	伴走型支援の成果を高める IT活用支援の基礎知識	中小企業が直面する人手不足や生産性向上を解決する上で、IT活用支援を行うことの有効性や知っておくべき基礎知識などについて理解していただきます。		
	13:20～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の人手不足問題とIT活用 ・生産性向上の意義と目的 ・ITと伴走型支援の望ましい融合 ・企業経営にITを導入する際の注意点 ・支援機関職員の知っておくべきITの基礎知識 		
	18:00～19:00	受講者交流会			
8月29日 (木曜)	9:00～12:20	IT活用による 生産性向上支援の具体策 (演習)	中小企業者の目線に立ったわかりやすいIT支援の進め方と、その取組みを着実に企業活動の生産性向上へと結びつける実践ノウハウについて、事例を交えながら具体的に学んでいただきます。		
	13:20～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・収益を高めるビジネスモデル構築の視点 ・IT初心者に対する支援のコツ ・IT活用で支援機関が寄り添うべきポイント ・業務効率化のためのIT支援策 ・販路開拓や収益拡大につなげるIT支援策 ・事例で学ぶIT活用による伴走型支援 		
8月30日 (金曜)	9:00～12:20	IT活用による 生産性向上支援の具体策 (演習)	<ul style="list-style-type: none"> ・収益を高めるビジネスモデル構築の視点 ・IT初心者に対する支援のコツ ・IT活用で支援機関が寄り添うべきポイント ・業務効率化のためのIT支援策 ・販路開拓や収益拡大につなげるIT支援策 ・事例で学ぶIT活用による伴走型支援 		
	13:20～16:30				
	16:30～16:40	終講式			

※初日の講義終了後、受講者交流会(18:00～19:00)を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

講師紹介	岩岡 博徳(いわおか ひろのり) 株式会社カレッジフェイス 代表取締役
	1973年生まれ。横浜市立大学商学部経営学科卒業、東京都立大学(現:首都大学東京)大学院経営学修士(MBA)。中小企業診断士、ITコーディネータ、東洋大学大学院非常勤講師。総合電機メーカー系商社で経営企画などに従事し、2004年に経営コンサルタントとして独立開業、2008年に法人化し代表取締役に就任した。自社でのマネジメント改革を通じ、ITによる業務効率化や事業計画策定、PDCA型マネジメント導入を得意とする。現在は事業承継を行い、省庁や都県等の公的機関、金融機関を通して数多くの中小企業支援を行っている。